

職員提案票

2021（令和3）年6月4日

所 属	提案者職氏名
総務部人事課	杉浦 直樹
1 提案事項 (タイトル) 25 文字以内	職員提案制度の改善
2 提案の背景・現状分析 (何が問題か)	
<p>職員提案制度は、職員が自らの担当業務に限らず、広く市政を担う一員ということを意識しながら業務を行う上で重要なものであり、また、担当課では気づくことが難しい課題や改善方法を見出せるものとして、市政運営の基礎であると考えているが、近年の提案件数はR 2が1件、R 1が0件と低調であり、市政運営の改善機会が失われている。</p> <p>本制度が活用されていない要因として、以前行われていた集中受付期間がなくなり提案をしづらく感じられているのではないか、あるいは提案が職員の賛同が得られるかや、提案審査会でのプレゼンテーション等の不安を感じているのではないかなどが考えられる。さらに提案が「実施」と判定されても、その後の進捗がみえないなどの影響が出ているように考える。</p>	
3 提案の内容 (何をどうするか)	
<p>改善策として、下記の3点を提案したい。</p> <p>①集中募集期間の制度化</p> <p>②部門の創設（新規アイデア部門、制度事業改善部門、事務改善効率化部門）</p> <p>※事務改善効率化部門では、必ずしも審査会でのプレゼンテーションを要しない。</p> <p>③ワーキンググループ会議の設置</p> <p>※ワーキンググループ会議は、提案者の補助及び提案実現可能性の向上を目的とし、提案者へ助言し提案を補強するとともに、提案審査会に意見を付すことができるものとする。また、審査において「実施」や「実施検討」とされた提案のフォローアップを行う。</p> <p>④人事評価への加点</p>	

4 実施することで期待される効果やメリット (結果的にどうなるか)

①により、定期的に制度の周知を図り、提案を積極的に促すことに繋がる。

②により、少しの事務改善でも提案できるよう心理的ハードルを下げることができる。

③により、ワーキンググループ会議が提案者の側に立つことで提案しやすい環境をつくるとともに提案審査会でのプレゼン等において提案者の心強い味方となる。また、職員個人では難しい職員等へのアンケート調査や担当課等とのやり取りにより、提案審査までに提案内容をブラッシュアップすることができる。さらに「実施」等とされた提案のフォローアップを行うことを明確化し、その効果を調査するなどして市政運営の改善に繋げる。

④により、提案者への明確なインセンティブを与える事で、より積極的な提案を促す。

5 実施にあって想定される問題点やリスク (実現するために必要なこと)

- ・提案数が増加することはよいが、ワーキンググループ会議で全てを扱いきれない恐れがある。しかし、ワーキンググループ会議の判断で優先順位を付けてよいと考えている。
- ・人事評価制度との整合性は慎重な議論が必要と思われる。